



京都部部報



BULLETIN

第3号 / 2007.7 発行

西日本区理事主題
国際会長主題
アジア会長主題

京都部部長主題 『百花繚乱 - 京都部 - 』
One for all, all for one 「一人はみんなのために、みんなは一人のために」
Active Participation with Love 「愛をもって 積極参加」
Participation and Inspiration 「参画、そして感動を！」



「2006～2007年度を終えるにあたって」

第11代京都部部長 大槻 信二
(京都センチュリーワイズメンズクラブ)



今期京都部におきましては、「クラブの枠を越えた交流」「事業の枠を越えた活動」をキーワードに活動を進めさせて頂きました。開催した部事業におきましては、予想を超える参加を頂き、必ずや、この意気が次期において新山次期部長の「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」という主題を花開かせて頂けるものと確信すると共に、事業開催をバックアップして頂きました各ホストクラブの皆様、参加して頂いたメンバー・メネットを始め、部内全メンバー・メネットの皆様にご感謝を申し上げます。

京都部から区へ発信させて頂いた環境問題についての取組みが正式に西日本区の活動「地域奉仕・環境事業」として承認されたことも京都部皆様のバックアップの賜物と感謝申し上げます。今後、益々環境への取り組みが、活発となりますことを願っております。Yサ・ユース事業において、区事業ではユースクラブ設立の推進が強力に打出されていますが、京都部では、20歳以上は、ユースクラブの対象というよりEMCの対象となります。然しながら、全国YMCAリーダー研修会において示された京都部メンバーのユースに対する熱き思いは、ユースクラブ設立に勝るとも劣らない活動と自負しております。

又、一部事業において区より発信される事業通信にてその事業方針が都度異なるということがあり、各クラブに最も近い立場である部長と致しましては、部運営において大変困惑致しました。

区大会を控えて各事業より表彰推薦のご依頼を受けましたが、その一部において特定の活動が、表彰の基準になる等、困惑する場面もございました。各部が夫々の特色を持って活動していることを理解して頂き、その違いを大切に、異なる活動が、公平に評価される区運営を機会あるごとに訴えてまいりましたが、私の力不足のため、総ての区役員の方々にご理解頂くまでには至らず、部内各クラブの皆様にご迷惑をお掛け致したことを、お詫びを申し上げます。

最後に、今一度、京都部メンバー・メネットの皆様の、この1年間のお支えに感謝を申し上げます。
ありがとうございました。

「1年を振り返って」

次期京都部長 新山 兼司



今期、大槻京都部部長の元、各クラブ会長や主査・役員の方々の熱心な活動が次期に向かって大変多く学ぶ機会を与えて頂いた事に感謝致します。

次期京都部は、7クラブが周年記念事業をされる事もあり、活気あふれる1年を送りたいと思います。

又、西日本区最重点目標の会員増強については、現況を維持するのではなく更なるステップと共に、会員増強を目指すことによって意義有る起爆剤となる事を願っています。

それぞれのクラブが更なる飛躍をされ、京都部の感性と高い能力を持っておられるワイズメンと共に切磋琢磨し、大きな力を発揮しましょう。

直前部長 古田 裕和



思い返せば1年前、評議会の中で大槻部長に部旗を引き継いでホッとすることが今でも鮮明に残っています。それから早くも1年が過ぎようとしているのですが、この1年間直前部長という立場で部に携わってき

ましたが、かなりゆっくりさせていただきました。しかし、部長をはじめ三役や主査の方々は忙しい1年間だったと思います。

部は部に所属する各クラブが様々な事業を行いやすくするために情報を流したり、クラブ間の調整をする機関であるというのは周知のとおりですが、それでもやはり部会やワイズデーまたYMCAからの依頼等やらないと行けないことは多々あります。今期も京都を飛び出た部会や全国YMCAユースリーダー研修会における昼食交流会、ワイズデーにはHIV/AIDSワークショップの開催等、大槻部長を中心として主査の皆様の活躍により大いに盛り上がった各行事になったと思います。また、数年前から京都部で進めてきた環境事業を西日本区にも事業として認めてもらえたことは、大変嬉しいことであり、大槻部長の功績の一つであったと思います。このように振り返ると京都部として非常に充実した1年であったと思います。

大槻部長をはじめ、役員の方々本当にお疲れさまでした。そしてありがとうございました。

監事 渡邊 公生



一年と言うよりも私の場合戸田部長期書記から始まり5年間京都部の役職を勤めさせていただきました。とは言っても不十分な事ばかりで、全うできなかったと言う感じが大半を占めています。しかしプリンスク

ラブのメンバーはもちろんの事、京都部のメンバーに多大なるご協力いただいたことには心から感謝してる次第でございます。中瀬部長期から始まった環境問題

への取り組みの動きは遅いものの、今期大槻部長のご尽力により、この4月から環境事業委員会として西日本区に設置していただく事になりました。まずは第一歩かと思えます。世界中にいる難民の中に環境難民がいます。2010年には5000万人を超えると予測されています。戦争難民は国家間の問題で生まれた難民ですが、環境難民は私たちが作った難民と言っても過言ではない部分を占めています。今年の3月まで環境委員会がなぜにCS事業委員会に入っていたかは言うまでもない事です。今後よりいっそう多くの皆様が広い視野を持ち新たな視点でのCS活動を御願したいと思えます。

また災害対策委員会は今期活動をしないで済みました。災害対策委員会が動く事はある意味では無い方が良いかと思えます。しかし昔の格言で「転ばぬ先に杖」は誰でも知っているものです。その日がこない事を願いつつ、もしものときの為に何かの準備をする。これは必要な事です。情報を常に流す事だけでも聞く方の頭の片隅にとどまるものです。今後はそのことを念頭に置きながら活動を私なりに手助けしたいと思えます。5年間ありがとうございました。

次期からはこれまで通り京都部の発展の為に活動していきたく思います。

Yサ・ユース主査 林 良廣



YMCA サービス・ユース主査をお引き受けして、2005年12月15日第1回次期京都部準備会が行われました。非常に緊張していた事をおもいだします。今まではクラブ内だけでクラブライフを楽しんでいま

した。月1回の準備会を重ねて来るごとに次期の役員さんの気心が分かるようになり、少し楽になりました。3月には、次期会長・主査研修会がありました。次期部長方針・次期西日本区主任方針を確認して、いよいよ次期主査の方針を決めなければ成らない、京都部内で行われているYサ事業は沢山あるけれども、これらを全て部の事業とすることは出来ないので、大きな事業の2つを行う事としました。1つは10月7・8・9日の全国YMCAリーダー研修会の中でYYYホーラムを行おうという事になり世界の料理(ワールドフードフェア)皆で料理を作り、おいしい料理をいただきながらワイズ・YMCA・ユースリーダーが楽しく話し合える機会にすることになりました。2つは5月20日のインターナショナルチャリティーラン(この支援金は障がいのある子供のためのプログラムに使用されます)です。その他の事業には積極的に参加する事と決めました。そして1年を振り返ってみて、私なりに多くの事業に顔を出す事が出来たと思います。また各事業に多くの参加者を出して下さった、各クラブのYサ委員長・会長さんに感謝いたします。有難うございました。



地域奉仕主査 加藤 隆司

「良き隣人となろう」を主題に「理屈なし.出席第一.笑顔で奉仕」を活動方針にスタートした今期京都部地域奉仕・環境事業主査を部長始め京都部役員さん、各クラブの方々のご協力により何とか無事終えることが

できます事に感謝申し上げます。

一年間を振り返ってみますと、本当に緊張する事が多かった様に思います。まず最初にプレッシャーを感じた事は、部長公式訪問の随行でのスピーチでした。そして2月のTOF強調月間例会訪問で3クラブに招かれ、石倉西日本区地域奉仕・環境事業主任と共に、TOFエイズについてスピーチさせて頂きました。この時は随分HIV/AIDSについて勉強致しました。2月18日京都部ワイズデーとして行ったHIV/AIDSワークショップは準備段階から京都産業大学の鬼塚助教授に随分お世話になりました。その時教えて頂いた事と例会でのスピーチは自分にとって大変勉強になり良い経験をさせて頂きました。感謝はいうまでも無いのですが一つ一つの事業を通して多くの方に協力してもらったり、応援してもらったり、そして今まで以上に沢山のひとと出会える場を与えてもらった事、又一つ私の財産が増えました。一年間有難うございました。



EMC主査 岸本 伸也

1年を振り返りますと、主題に掲げた「キャッチ ザ・500」を実現すべく各クラブ純増3名の活動方針においてスタートいたしました。まず初めに EMC 交流会で京都部内の垣根を超えた親睦が出来たと感じて

おります。当初より京都部の旗振り役・サポート役としてお世話が出来たと思っております。しかし、上半期は半年報ベースで3名減の結果となり、下半期においては5月末現在の数字ですが452名の結果となっています。456名でのスタートになったのですが京都部18クラブでは前年を割り込んでいるという結果になっています。

入会はあったのですが、それ以上に退会がありましたので1年を通して、マイナス4名という結果になっています。各クラブともいろいろな状況下でノンドロップは避けがたい現状であり、やむを得ないところかも知れません。

ですが、将来に向けて京都部18クラブにおいてもメンバー増強は不可欠であり EMC は絶対必要と考えております。

そこで、今年は広報のご協力得て京都部の HP に入会案内のボタンを設定して参りました。各クラブの HP にもリンクしていますので、少しでもメンバー獲得のお手伝いになればと考えて参りました。これを継続していただきメンバー獲得の一助になればと考えて次期へと繋がればと思う所存です。

京都部18クラブ各メンバーの皆様、1年間本当にご協力を賜りほんとうにありがとうございました。



ファンド主査 柳 慎司

京都部内会長をはじめ、メンバーの皆様にはこの一年間ご理解とご協力を賜りありがとうございます御座いました。お陰様で無事に？主査職務が終える事が出来ました今思えば「ああすれば、こうすれば良かった」と思っ

かりです。

京都部 HP の主査ページを記載するにあたり、大槻部長(元アジアエリアファンド主任)・横田西日本区ファンド事業主任より、ご指導を頂きました事をここに感謝申し上げます。

大槻部長をサポートされた、各事業主査、山崎書記・片山会計のお働きに共に感謝申し上げます。そして部長を輩出されましたセンチュリークラブのメンバー・メネネット様方々には京都部役員として御礼と感謝の気持ちで一杯です。「飛び出しちゃいました・・・」大津での京都部会はさぞ気苦労があったと察します。しかし部会は大成功！メンバー数じゃない、団結力と行動力に頭が下がります。また、部役員会では西日本区のみならず、アジア・国際レベルの情報・情勢を大槻部長よりお聞き出来た事は、ワイズメンとして貴重な経験をさせて頂きました。京都部役員・主査を経験されていない部内メンバーの皆様、「クラブを飛び出しちゃいませんか」楽しいですよ、色々なクラブカラーが見えてきます。奉仕活動は勿論ですが、親睦第一 これもありです。最後にファンド主査を拝命するにあたり、影で支えて頂きました、我がキャピタルクラブメンバーに感謝申し上げます。



交流主査 村田 嘉樹

先ずは、京都部長を始め京都部の役員の方々、各クラブ会長、委員長の皆様一年間有難うございました。交流事業としては八月始めに韓国釜山で開かれた国際大会に初めて参加させていただき世界中のワイズメン

と交流がもてたこと、又同地において部内のクラブのIBC 交流に同行させていただき国際交流の楽しさを実感し確信して帰ることが出来ました。帰国後、部長公式訪問に8クラブの随行させていただき各クラブの個性豊かな例会で迎えてもらい、本当によい経験をさせて頂きました。出来れば全クラブの例会に出席させて頂いてもよかったかと思っただけです。ただ年初から IBC 締結を希望しておられたクラブがあったのに私の力のなさからか、うまく行かなかったのが残念です。又期末の報告で部内各クラブが素晴らしい交流をしておられたのに自分が把握できていなかったのが残念です。この事は反省とし次期に引き継ぎたいと思います。私が主査として十分な活動が出来たとは思いませんが、この役を与えていただき自分自身が一番楽しい一年を過ごせたと思えました。交流事業は楽しくなければ意味がありません。今後、各クラブが益々盛んな交流をしていただけることを期待いたします。本当に有難うございました。



広報主査 荒川 徹

光陰矢のごとしと申しますが、本当に1年は早いものです。部長をはじめ役員皆様方のご協力のお蔭様で1年を終えることが出来ました。感謝申し上げます。

さて1年を振り返りますと、大槻部長から広報主査の指名を頂き、考える暇も無く受けさせていただきました。Yサヤファンドは1年を通して具体的な活動がいろいろと有りますが、広報はそのような定例のプログラムは有りません。まずは、西日本区の広報マニュアルを読んで3つのPを頭に入れました。まずはPUBLICITY(広報)、二つ目はPROMOTION(宣伝)、3つ目はPUBLIC RELATION(広報活動)この3つです。私なりに解釈したのは、京都部内の各クラブの活動の状況を把握し、内外に知らしめて、より活性化していくことではないかと考えました。今期はこの三つを念頭において活動をしましたが、1年を終えてみると、結局、何も出来てなかったと反省をしております。

広報主査が頼りなくても、京都部の各クラブは流石です。ミニFM局ラジオカフェに取り組みされた京都クラブが広報事業最優秀クラブ賞、広報事業優秀クラブ賞には京都グローバル、ホームページ優秀賞には京都パレス、京都ウェスト、京都トゥビー、プリテン努力賞には京都パレスと各クラブがそれぞれアワードを受賞されました。皆様の活動に感謝申し上げます。

たいそうな話ですが、次期は重圧からも開放され、ゆっくりとワイズライフを楽しませていただきます。そして今回ご縁を頂いた皆様、これからもよろしくお願いたします。ありがとうございました。



メネット主査 赤松 好美

一年を振り返って早いものであったという間の一年でした。ワイズ活動に参加して、いろいろな方達と知り合えて、楽しませて頂きました。

9月には京都部部会、1月合同メネット会のおみやげ作り、2月合同メネット会。ワイズメン・メネットの皆様にご協力頂きありがとうございました。

思い起こせば1年数ヶ月前、メネット事業主査をお受けした時「他の部の人達とも知り合えるし、一年過ぎたらきっと良かったと思うし、絶対プラスになるし」と言われた事を思い出します。私はその時、何の事かわかりませんでした。今その時言われた事が実感できました。

他の部のメネット事業主査の皆様とも知り合う事ができましたし、合同メネット会の時も参加者はどれ位だろうかと思っておりましたが、メネットの皆様のご協力で多くの方々に参加して下さいました。感謝の気持ちで一杯になりました。

この一年間経験させて頂いた一つ一つが私にとってプラスになったと思います。

最後になりましたが、京都部部長をはじめ、京都部役員の皆様、本当にお世話になりました。楽しく過ごさせて頂き、ありがとうございました。

統括連絡主事 西岡 義郎



今期の各クラブ働き、京都部の働きは、人材による奉仕、品物による奉仕、金銭による奉仕、情報提供による奉仕とすべての分野で京都YMCAをサポートいただきました。心より感謝申し上げます。YMCAは施設ではなく、ムーブメントであり、京都YMCAにとってその大きな働きを担っていただいているのがワイズです。

また、京都YMCAの事業への参加、YMCAの各種委員会への参画を通してクラブを越え、会員との出会い、大学生ボランティアとの出会いなど様々な学びがあったことと思います。特に今期は、全国YMCAリーダー研修会における京都YMCAとワイズの協働は、全国に誇れるパートナーシップの結実でありました。市民運動のひとつの見本として全国に発信できる運動を続けられること願ってお礼といたします。

書記 山崎 育男



皆様、1年間本当にお疲れ様でした。当初はクラブ内、京都部長の輩出と部会のホストとして大変な1年になるとメンバー全員が思っていました。それ以上に私にとっては京都部での大舞台、当初は不安でいっぱいでした。しかしながら役員と各主査の皆様や各クラブ会長の皆様の真剣な取り組みと熱意、そしてご協力により各事業とも盛大に終えることが出来ました、有難う御座いました。

また当初部長から言われていました『人と人との交流を楽しみ広げなさい』のお言葉も、今になって分る気が致します。次期への引継ぎも終え、更なる京都部発展のため、今後はクラブから応援をさせて頂きたいと思えます。

大槻部長をはじめ、役員、各主査の皆様、そして各クラブ会長の皆様、本当に1年間ご苦勞様でした、有難う御座いました。

会計 片山 吉章



京都部の会計を拝命した時には、どうなるのだろう、大変な事を引き受けてしまったと思っておりました。しかしながら京都部メンバーの一人一人のご協力によりスムーズな運営が出来ました事、非常に感謝いたしております。部費等の納入に際しましては、各クラブ会計の皆様には多大なるご協力を賜りました事、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。又、次期笠井会計にも同様のご支援を賜ります様、御願い申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

京都ワイズメンズクラブ

会長 石若義雄

クラブ会長の主題は、一年を通して最も力を入れる内容の表現であると思い、今のY M C Aの現状をもっと知っていただき、私自身がY M C A活動のひとつの力になれることを願い、クラブの活動をY M C Aサービスを重点に置く方針をたてました。各事業委員長も理解をしていただき、毎月の委員会での話し合いが行われてきました。一年を振り返り、メンバーの働きは想像以上に大きなものであったと喜びです。



クラブ活動の一つ一つを紙面でお話することは大変ですので、特に印象に残った、他クラブとの交流について紹介します。

一つ目は、トゥービークラブと7月の祇園祭夜店を共同で開催できたことです。宵山と宵々山の二日間、Y M C A本館前で夜店と、子供たちを対象にゲームコーナーをもちました。三条通りを歩く祭り見物の人たちに、Y M C Aを知っていただくことと、売り上げはY M C Aに寄贈することが目的です。

二つ目は、Y M C Aクリスマスロビーコンサートの開催を二日間連続で行えたことです。二日目にはセンチュリークラブが担当していただいたことです。

一日目は会員クリスマスに合わせて、ロビーコンサートを行いました。クリスマスの時期、Y M C Aの1階ロビーでは誰でも気軽に入ってきて楽しんでもらうだけのコンサートを1週間連続で開催することです。これから賛同していただけるクラブが増えることを楽しみにしています。

三つ目は、ウエルクラブの3月例会に訪問したことです。

合同例会ではなく訪問であります。一番新しく、輝いているウエルクラブと最も古いクラブの交流を目的にしました。「のっとり例会」と呼ばれることがありますが、京都クラブから大勢で訪問したいこともあり、役員会の日程を変更してクラブ訪問をしました。従いましてウエルクラブのメンバーより多く、19名のメンバーが訪問したことによって、テーブル毎にメンバー同士の会話が出来たことを喜んでます。

私たちはクラブごとに多くの活動を行っています。他クラブのメンバーと交流することによって、違った目で活動を見直すことが出来るように思います。

又、一クラブでは十分に出来ないことも、二クラブ、三クラブで共同することでより大きな活動に繋がることと思います。

他クラブの事業を知ることにより新しい考えが生まれ、Y M C A活動の発展へと繋がっていくことを望んでいます。

福知山ワイズメンズクラブ

会長 小林 敬明

平成10年に入会以来、厚かましくも3回目の会長を引き受け、何とか今日を迎えることが出来ましたことを先ず感謝申し上げます。



今回は、スローライフスタイルで会長主題も「家族の絆、地域の絆、友人の絆をあたためよう」と自分自身に対する思いも含め、高年齢打破、常に若い気持ちで取り組みました。また、少人数クラブを何とかプラスに転じようと、活動目標をしぼり、会員増強、楽しい例会づくり、出席100%必達を目標に例会と役員会たびに督励しました。結果は、

「会員増強」はノンドロップ賞獲得で何とか現状維持、「楽しい例会づくり」は会員の積極協力でゲストスピーチ例会・6回開催、9月・京都益富地学会員・吉井昌平氏の「アンモナイト化石の話」、11月・福知山成美高校野球部監督・田所孝二氏の「高校野球を通じて、現代の若者を見る」、2月・西舞鶴高校副校長・井関康宏先生の「楽しい教室(数学)の話」、3月・福知山市児童科学館長・塩見建男氏の「児童科学館・三段池公園の紹介と体験談」、5月・国際ネットワーク協会会長・佐々木璋英氏の「モンゴル・インド視察の話」、6月・福知山史談会・桐村耕司氏の「江戸後期の福知山町人の話」など、地元の夫々の博学のゲストを迎え、充実した勉強例会となりました。また、8月・会員社長経営のニコニコ温泉で「風呂でくつろぐ納涼例会」、12月・腹話術・税理士由良正敏氏を迎えての「クリスマス家族親睦例会」、1月・書初め大会慰労を兼ねての「新春親睦例会」、4月・「花見の宴・親睦例会」など会員間の

絆を深める例会が出来たと思います。「例会出席100%必達」は、一部メイクアップ出席も含め100%達成、少人数の利点を活かし優秀賞受賞となりました。

次に、YMCAとの活動は、恒例の7月「弘法川クリーン・魚つかみ大会」9月「国際交流ネットワーク料理教室支援」10月「ファンド事業じゃがいも販売」1月「新年席上書初め大会」5月「福知山市こども大会・竹細工コーナーと子供読み聞かせ教室担当」等、少人数ながらワイズとYMCAの市民権維持が出来たと思います。

終わりに京都部の2番目のチャータークラブでありながら、京都部の活動に参加、ご協力出来なかったことを誌上をお借りし、深くお詫び申し上げます。

本年1年間、誠にありがとうございました。

京都パレスワイズメンズクラブ

会長 井上 彰

光陰矢のごとしとは良く言ったもので、過ぎてしまうと大変早く過ぎた一年でした。

『さらなるクラブ活性化のために』を主題に掲げて、ワイズメンズクラブの本質であるYMCAのサポートを充実させるべくスタートをきりました。メンバーに活力を与えるのは会長自らが例会はもとより委員会にも出来るだけ参加しクラブ運営の把握に努力しました。



11月のオータムフェスタを振り替え例会として多数のメンバー参加を呼びかけ、実行委員会には綱引き大会を提案をさせて頂き承認を得て実行させて頂きました。京都部の皆様にも多大な協力を頂き大変楽しい一日を過ごす事が出来ました。

半期も過ぎた頃より、ようやく会長と言う役職にも慣れはじめたのですがまだ楽しむ所まではいかなかったようです。しかしながら自分の中で会長とはメンバーに対してどのように接していかなければならないかがおぼろげに見えてくるようになりました。理論に勝るのは会長の思い入れである事が理解出来るようになったのです。

4月に韓国の仁川チェンムルポクラブにIBC訪問をしたときに多大な歓迎を受け、IBCやDBCのクラブ交流が素晴らしいものであるかを実感し感銘を受けました。初めて会ったメンバーにもかかわらず

こんなに親しくなれるのはワイズメンだからと、つくづく思った次第です。

こうして思い返してみるといろいろな事が有りましたがクラブメンバーに支えられ一年間の任期を全うすることが出来ました。クラブの中では『自己研鑽』という言葉をよく耳にしますが、自分の居心地の良い場所が必ずしも自己を高めてくれるとは限りません。かえって緊張感をもって周りに気配りをし議論や忠告を受けているときほど自己を高めてくれるものと実感しました。この一年間お世話になった方々に感謝すると共に、この経験をクラブの中で生かしていきたいと考えています。

京都ウエストワイズメンズクラブ

会長 河合 久美子

会長期の最後の最後である6月に、今期最大の事業「IBCトライアングル交流」が無事終了し、ほっとしているところです。ウエストクラブは、台北ダウンタウンクラブ・ソウル鍾路クラブとIBC締結をしていますが、2年に一度、いずれかの国を訪問、交流することとしており、今回は、私達のクラブがホストとして、5日間の日程で、西日本区大会に合わせて日本で開催することとなったのです。交流委員会を中心に何度も会議を持ち、綿密な計画を立てて、クラブ一丸となって取り組んだ結果、海外の2カ国からのお客様と心温まる交流の機会を持つことができ、満足して帰っていただくことができました。IBCの東京ひがしクラブの方々にも例会に同席していただき、IBC・DBCを同時に行うことができたのは意義深いことでした。初めてIBCに参加したメンバーにも、楽しかったという感想を持ってもらえ、ウエストが大いに盛り上がったひとときでありました。この勢いとまとまりを、次期に繋げていけたらと思っております。



今期は、他にも、広報100人例会、京都部CSボーリング大会ホストなど、クラブ全体として取り組む大きな事業がありましたが、メンバーの協力にて成功させることができました。その他、今期より新しい地域奉仕の関与先として、初めて「みやこ作業所」様のバザーに参加させていただいたこと、ブリテンの印刷を後半期より内製化する試みを開始した

こと、特別メネットの入会があり、受け入れに際し会則の改定を行ったこと、などが特筆すべき事柄でしょうか。やむを得ない事情で退会したメンバーもあり、人数は減少しましたが、30周年に向けて、今期に蓄えたパワーを生かして、より発展していければと願っております。

会長の1年間は、終えてみるとあっという間でした。貴重な場と機会を与えていただき、多くのことを学ぶことができました。ご協力下さったウエストクラブのメンバー・メネット、京都部、西日本区の方々をはじめ、全ての皆様に、心からの感謝を申し上げます。

京都めいぶるワイズメンズクラブ

会長 松村 康弘

前期事業報告を提出してから早半年が経ち、後は引き継ぎ例会を残すばかりとなりました。

今期退会者は出ませんでした。残念ながらメンバー増強が出来ませんでした。

前期の事業報告をさせていただきますので、後期の特記事項を報告しますと、4月21日-22日の間、IBC 締結先の韓国・文鶴クラブ、台湾・長春クラブを迎えて三国 IBC 会議・三国合同例会を開催いたしました。21日三国 IBC 会議において各議案を採択後、各クラブにおけるワイズ活動・メンバー増強について意見交換を行いました。それぞれのクラブとも日本と同じ様にクラブ運営には退会者が多く、メンバー増強が思うように進まない等問題が有るとの発言がありました。

22日は近江八幡水郷めぐりの観光、その後、今期めいぶるクラブが使用することになっている三国合同奉仕資金\$3000を使用し、YMCA サバエキャンプ場に旗の台座を寄贈する式典を行いました。また、余剰資金は、三国合同例会で YMCA 神埼総主事に国際協力資金として贈呈しました。今回、村田交流委員長を初めメンバーの協力のもと、京都で IBC 交流が出来たことは、会長として非常に印象深いことでした。



また、クラブ内に数年前からビジョン委員会を設け、クラブの活性化を検討しています。クラブの共通の目標を持ちこれに向けメンバーの意思統一を行う意味から、今期も前期に引続き 25周年に向け DBC

締結を目指し検討してきました。今後、DBC に向け双方交流を進めて行く予定となっております。新たなめいぶるクラブの歴史が出来るものと期待しています。

今期を振り返り不十分なことが多々あったと思いますが、会長に就任する前、会長経験者の方々より会長一人でクラブ運営を出来るものではないと、助言をいただいていたが、会長に就任してこの言葉が実感でき、三役をはじめメンバーの方々に助けられ無事任期を終了できそうです。

京都キャピタルワイズメンズクラブ

会長 大門 和彦

大きな問題も無く会長として勤められことを皆様に感謝したいと思います。「本当にありがとうございました」この一年間を振り返りますと、会長研修会の時に「納涼例会を合同でやりませんか？」と声をかけていただいた大阪センテニアルクラブの坂本会長。クラブ内でも話はトントン拍子に進みキャピタルクラブにとって初の「納涼合同例会」を開催することが出来ました。この特別例会が私にとっての一年の始まりだったように思います。当クラブは夏から秋の事業が非常に多く、YMCA事業を中心にキャピタル独自の事業、「ふれあい広場」「ベデスタ祭り」等、委員長を中心に本当に頑張ってもらっています。例会以外の事業に積極参加することがワイズメンズクラブをより理解できることと思います。クラブ内におきましては「メンバー間のコミュニケーション作り」をテーマに取り組んでまいりました。



その第一弾は、各委員会の定数制を見直し、事業の多い委員会にメンバーを多く割り振る。また EMC 委員会は委員長のみ設置し、委員はクラブメンバー全員が所属する。このことによって EMC 委員会を中心に合同委員会が活発に行われるようになり、年齢差を意識しない懇親が出来たのではないかと思います。いずれにしても一人では何も出来ません。キャピタルメンバーをはじめワイズに関わる多くの方々へ心より感謝します。24年のキャピタルクラブの“バトン”を私の期で落とすことなく次期に渡すことが出来ました。本当にありがとうございました。

京都プリンスワイズメンズクラブ

会長 小泉 洋

京都センチュリーワイズメンズクラブ

会長 浦上 準之助

第21代会長として、昨年1月に20周年委員会を発足させ、私としてはこの間、長くもあり、また短くもあり、そしてほんとに充実した一年半を過ごしたのではないかと素直に思っております。

昨年6月の所信表明において、今期はプリンスの火を消さない為、プリンスの再建という重要な時期であるという事で、その為に、いかに取り組むべきかと述べました。そして、今期の重点目標を三つ掲げました。

一つ目は、20周年記念事業です。その国際大会参加旅行は、ワイズがインターナショナルクラブである事を自覚も出来、世界で同じ理念の人達とも出会い、ワイズを再認識出来たものと思います。「ハカ」のパフォーマンスもあって盛り上がり、今後のクラブに寄与するものは大きかったと思います。

そして、二つ目は、メンバー数の少なくなった現状では、各事業の「選択と集中」、プライオリティを付けて集中度を高めるという活動方針は、理解をもって受入れられたと思います。ドロップアウトや長期欠席者もあって、各委員長には運営において、大変なご苦労だったと思います。

三つ目は、PRですが、これは正直言って消極的なままでした。京都部においてのHPの入会案内ページは一步前進だと思えます。ワイズの発展の為には絶対必要な事ですので、プリンスの今後の積極的な取り組みを期待しています。



会長主題「特異点」に沿って、国際大会参加旅行、EMC交流会、EMCアワー、メンバー増強例会、区役員との意見交換例会、ファミリー例会等と例会・事業を展開して頂きました。私がどれだけお役に立てたかは分かりませんが、十分に将来に向けての「特異点」になったものと確信しております。

最後に、京都部の方々からのお世話とメンバーの皆様のご理解とご協力を頂きました事、心より深く感謝申し上げます。誠に、ありがとうございました。

昨年度はYサ委員長をやっていた。かたちだけはあるが、クリスチャンを名のる私には「適任」とメンバーから言われ、その気になってYサ委員長となったが、これが結構忙しい。本業多忙にてと言いつけし、おおいにサボった。おまけに、わがクラブの例会にもまともに出席できなかった自分。しきりに反省していたところに今期会長の話しが。

迷った。でも、ほかに誰もいない・・・。

意を決し役員会と例会にはすべて出た。これは100点かなあ。でも、いまだに思う。私はワイズのこと何も分っていない。役員会の議長を務めていても分からないことがままあったが、知らぬふりをして切り抜ける。ある意味スリリングなことでもあった。しかし、内心は忸怩たる思い。メンバーが大切にしている白川学園にも行けなかった。平安神宮での国際協力街頭募金にも行けなかった。もちろん、参加できなかったY's行事より参加した行事の方が圧倒的に多いのだが、不参加は常に私の焦りとなって帰ってきた。「心一つに、心あらたにセンチュリー」を会長主題とした。ワイズって一体何だろうと常に自問自答していたからだ。自分の心の中に勝手に描いていたワイズと現実のワイズには大きなギャップがあった。EMCの重要性は分っていたが、安直に入会させると、また、私のような人材が生まれることになる。そう思うと力が入らない。ワイズメンの裏側まで充分見せたうえでの入会なら大丈夫、と思う一方、裏側まで見せると誰も入らない、という葛藤があった。



思い起こせば反省することはばかりだが、「裏側」を歩いたことによって、「ワイズって何だろう？」に八分ながら解答を得ることができたと思う。日ごと体力を消耗しつつも立派に責務を全うされた大槻部長を傍らで眺めてきたこともずいぶん勉強になった。

まだ、未消化で心の整理できないまま、次期会長にセンチュリーの運営をゆだねることになる。暗い反省文になったが、これが包み隠さぬ私の現在の心境である。

京都ウイングワイズメンズクラブ

会長 谷口 豊

一年をふり返って、早かったかというこの一年は非常に長く感じられ、昨年の夏のワークが遠い昔の事のように感じられます。長かったけれどその分、中身は非常に濃い充実した一年でした。

20期、20年目を迎えたクラブという事でもう一度原点に立ち返り、たずなを締め次期・次々期に控えた20周年事業・京都部部会ホストという大きなイベントに向けメンバーが一丸となれるようその足固めの一年にしたいと思いスタートしました。どこまでリーダーシップが発揮でき、お役に立てたかはわかりませんが、クラブは順調に動き出しております。



各例会・各事業をふり返ってみると、ひとつひとつに思い入れや思い出があり懐かしく感じられますし、メンバーそれぞれが真剣に取り組む姿に感銘を受け、また感動や達成することの喜びを分かち合いました。こんな素晴らしいメンバーの方々を支えられ共に一年間有意義な時間を過ごせた事に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

今後は、この一年間の貴重な経験を活かしクラブの発展・ワイズの発展に微力ながら尽力していきたいと思っていますので、今後ともよろしく願います。

最後になりましたが、京都部の部長はじめ各役員の方々、また各クラブの会長の方々にはいろいろとお世話になりました。

京都洛中ワイズメンズクラブ

会長 坂井 昇

クラブの皆さんの推薦を受けて会長の重責を拝命し、大変なことになったなあと思っているうちに、はや一年。一体なにをしてきたのかあまり実感はありません。なにか日々の動きに翻弄されてきたようです。思うにこの一年、ワイズメンズクラブ会長の成すべき行動を大槻京都部部長はじめ、各事業主査の皆様や京都部各会長皆様の後姿を見失わないよう懸命に追いかけてきたつもりです。

しかし、私にとってこの未知の経験は、本当に有り難い事でした。

ただ、思惑としていた洛中のEMCの充実/IBCの交流/ノン・ドロップの達成等目標にしていたことができず、メンバー諸氏に迷惑をおかけしたと思っております。



洛中も次年度には、20周年の事業をひかえ、その周年事業の実行委員長を命じられ、ゆっくり後ろを振り返るひまもなく、前進・前進するつもりであります。

そして、洛中次期会長の室田ワイズは、わたくしと違い大変冷静沉着な人格者です。彼を直前会長としてサポートし、ともにクラブ運営に尽くそうと考えています。

またEMC委員長として、そして、今年入会させてもらったYMCAの正会員としての立場を認識してワイズ運動に参加させていただきます。

本当に今年一年みなさま有難うございました。今期会長での経験で新しくできた他クラブのメンバーの友人とも協力しつつ京都部の充実を願いつつ未来に希望をもって頑張りたいと思います。

京都エイブルワイズメンズクラブ

会長 上澤 正廣

クラブ主題に「人と人、言葉と言葉で親睦を」基本方針に「もったいない(感謝)もったいない(環境)」を掲げスタートしました。

エイブルクラブも17期となり、メンバー数も17名、20周年に向けての準備の期としていこうと思っておりました。ところが部のYサユース事業主査に林YSを排出することになり、それじゃクラブあげて林主査をバックアップしようということでYMCAの事業の支援に力を注ごうとまとまりました。花背山の家での全国YMCAリーダー研修会へのスイス料理での参加、リトセン事業への参加、チャリティランで小弁当の販売、三条YMCA関連事業への参加とYMCAとワイズの関わり事業も多くあるものだなあと感じました。遠かった三条Yが近くに感じられ、近かったリトセンが遠くに思えた年でした。地域奉仕事業に関しましては宇治市社会福祉協議会

事業「福祉祭りでもちつきでの参加、またNPO 法人重度身体障害者所有施設「こもれび」の支援と例年通りの活動ができました。



醍醐ホテルの閉館、例会会場をバルセスインに移したものの修学旅行シーズンでの使用不可、セントノームでの併用、榎島コミュニティセンターの利用とドライバー委員会の運営も大変な一年でした。メンバー数もまず20名とっていましたが達成できませんでした。

メンバーの高齢化により会員補強を引き続きしなければならぬとメンバー全員が感じておりこれからと・・・。

次期は京都部の地域奉仕、環境事業主査を担うことになりこの1年で多くの人と人の出会い、親睦を取れたことを体験とし前向きにチャレンジしたいと思っています。本当に「もったいない」感謝の気持ちで一杯です。

京都グローバルワイズメンズクラブ 会長 高橋 明子

今振り返ってみれば、会長就任以来後ろから押されわからないままに走り、転びそうになったときには三役のメンバーの手が、大きな行事のときにはメンバーの多くの手が、いつも私を支えてくれた1年でした。期の最後になって「もう終り？」そんな思いを抱くような、あっという間の短い一年でした。

京都グローバルでは来期15周年を迎えます。この15周年にあわせ、海外で子供たちの為の学校を作りたいとの思いで活動してきました。ここに至るまでには建設地・費用の問題などいろいろな壁があり、挫折しそうになった時もありました。しかし今期は、何が何でも子供たちの笑顔が見たいと、メンバー一同目標に向かって進んできました。まず、私達の目的と活動を知ってもらおうと携帯クリーナーとシールを作ってアピールしました。次に、市役所前でのリサイクルバザー、そして150人規模のチャリティ・ゴルフなどを行いました。このような活動が実り、京都新聞でも取り上げていただき、メンバーの士気も大いに高まりました。そして多くの皆様のお陰をもちまして、とうとうプルサット(カンボ

ジアブノンベンの北西4時間)に学校建設地が決まり、今期中に発注と言う段階にまで持ってくる事ができました。大変嬉しく思います。



会長をさせて頂いて今まで知っているようで知らなかったワイズメンズクラブの事を多く知る事ができ、また様々な意義ある活動を通してワイズメンの楽しさを再確認させていただいた一年でした。ありがとうございました。感謝

京都みやびワイズメンズクラブ 会長 有澤 泰伸

今期7月のスタートが、サバエキャンプ場への芝刈り機の贈呈そしてキックオフ例会では、新会員の入会式(青年獲得賞)で始まり、幸先の良いスタートとなりましたが、EMCの会員増強に対しては1名のみでこれ以上の増員はお預けです。多少悔いが残る結果です。



DBCクラブの熊本むさしクラブとは、今期みやびホストで丹後半島方面へバスツアーの一泊二日で交流を行いました。この時には、親クラブの京都ウエストクラブより6名の参加を得て多に盛り上げて頂きました。又、むさしクラブ10周年記念例会には、みやびメン・メネット8名が出席、そして野外バナーを壇上に上がり贈呈お披露目。後に、田上会長よりお聞きした話に、この野外バナーを早速諸活

京都トップスワイズメンズクラブ

会長 新山 堅一

動の折に掲げると反響が、ワイズメンズの広報に一役かっているとのこと。このことをお聞きして、本当に良いものを送ったと安堵しました。これからも良き友人・良きライバル?・良きお手本のむさしクラブと交流を楽しみたいと思います。

この一年は、私に無難に乗り切ったと思いますが、会長の立場になると余り思い切ったことが出来ません。どうしても無難な方向に向いてしまいます。本音で言いますと、準備期間を充分にとって企画し大きな花火でも打ち上げたいと考えるのが誰しも同じ想いではないでしょうか。

次期は、みやび 15 周年を迎えます。ひとつの区切りとして捉え、更なるみやびの発展を全員が同じ想いで新たなるスタートラインと位置づけ、みやびらしさの出る企画で迎えたいと思います。直前会長の立場で、次期会長をフォローできればと今一度自分自身に対し奮起を促し、この一年を終わりたいと思います（会長会では大変楽しい時間を毎回過ごさせて頂いています。私にとっての大切なエネルギー源でした、感謝!）

京都さくらワイズメンズクラブ

会長 佐々木 稔

あと少し、今期の幕が降ります。あれもこれもと考えることの多い一年でした。最もいらいらするのは、何と云っても会員が増えないことです。前半期の報告でも書かせていただきましたが、高齢化の余波は避けることができず、若い会員を探し出すことの難しさをひしひしと感じるこの頃です。現在も定年を過ぎた男性が「ワイズは、どの様な事をされている団体か参加してみたい」と言ってくれますが、やはり心身ともに健康であることを求める限り少しでも余病のある方を無理な形で入会して頂くのはいかなものかと考えてしまいます。



一年間のクラブ活動ではDBC交流のまずまずの成功と、区大会で4つの賞を頂きました。表彰のために活動をする訳ではないとはいえ、例え小さな受章でも活動の結果であると考え、今後も“ガラスの箱”を落として壊さないよう少ない人数でがんばって行きます。

今期の主題 “元氣玉” ~もっと楽しく・もっと前へ~ 一人の力では、たかがしれています。メンバーはもちろんワイズを通じて出会うたくさんの方からいい氣をいただいて大きなパワーにし、せっかくやるのですから楽しく!積極的に!参加しようという思いで取り組んでまいりました。三役・メンバー・ワイズを通じて出逢ったたくさんの方々のおかげで無事全うする事ができました本当に感謝致します。



3年のうちあつというまに本当に楽しい足掛け2年がすぎました。この2年、会長というのは、とても楽しいなあ(楽しいことは、あつという間に過ぎる!)と実感いたしました。

次期は、直前会長としてさらに楽しいクラブライフを送り、サポートしてくれたかみさんと家族にも感謝して(これも自分自身が一番楽しんでいますが)家族サービスしたいと思います。

みなさんのおかげで、楽しい経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

(まだの方は、是非ともこの楽しい経験をしてみてくださいねハマりますよ!)

今期終わってしまうのは、非常にさみしい思いでいっぱいですが・・・ほっとするまもなく念願の京都部部会が控えています。皆さんにもらった大きな“元氣玉”をもってみんなで楽しみたいと思います。

感謝!

京都トゥービーワイズメンズクラブ

会長 宇佐美 賢一

この一年、皆様のおかげで無事終えることができましたことを感謝申し上げます。トゥービークラブのこの1年の活動を振り返りますと、大きく2つのトピックがございました。1つ目はY M C A理解と協同です。まず期のスタートで神崎総主事をお招きしY M C A理解のための講演を行っていただきました。その後、国境無き医師団に参加された看護師の美木朋子さんを講師としてお招きした講師例会にY M C A野外リーダーを招待し、またY M C Aリーダーを講師として例会にお招きし日ごろのY M C Aでのリーダーの活動を発表していただきました。その

過程の中で、特に新しいメンバーを中心にY M C Aの活動への理解と共感が深まったのではないかと思います。

今期最後の事業として、Y M C Aが継続実施されている京都府立医大小児病棟の子供達へのサポートに関し、Y M C Aとトゥービークラブが協同で病院内での“夏祭り”実施の運びとなったことは、トゥービークラブにとってY M C Aサポートの新しい形を見つける 大きな一歩であると思います。



もう一つは、アフガニスタンの子供たちへの絵本事業 ~ダリ語編~です。西日本区をはじめ、多くのクラブ、ワイズメンのご協力をいただき、この事業がほぼ完了の運びとなったことを大変嬉しく思い、皆様に感謝申し上げます。絵本は今期発送まで完了しましたが、最後に現地政府と日本ユネスコ協会のご協力による子供たちへの配本作業が残されております。残念ながら現地情勢により渡航することができませんが、しっかり最後まで事業を完了し、皆様にあらためて事業のご報告をさせていただきます。トゥービークラブは次期10周年を迎えます。次の10年に向けて様々な取り組みを考え、実行していく大きな節目の年となります。大きく成長するクラブとなるように願っております。

京都東稜ワイズメンズクラブ

会長 市木 勝彦

立夏の候、皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて東稜クラブ2006年~2007年1年間無事務めさせて頂きました。長い1年間になるかな~と置いていましたが、意外と早く終わった様にも思いました。自分としては考えた事が、なかなか実施できなかった事は残念でした。又、皆様方には大変お疲れ様でした。

東稜クラブは「人の和」で広げようワイズメンを主題として、地域密着型で進もうクラブ活動を方針として「学びの心」「愛する心」「奉仕の心」を以って地域環境の改善に努め、明るい住み良い地域社会を築く為、地域にあったクラブ活動を進めて行く、とのスローガン内容を頭に入れて、ワイズメンとして活動を進めてきたつもりですが、なかなか思う様に出来なかったのが実情で、どうしても主年間行事のスケジュールをやりこなす事に追われた状態で、

心残りな結果に終わった事は反省点と考えています。

東稜クラブは、誰でも、特に若い人達が自由に参加しやすいクラブを目指し、第1例会は、自由な服装で堅苦しくならない様にと、又会費も安く(5000/月)とし、例会終了後は皆が時間の許す限り、隣の居酒屋で懇親を深め、ざっくばらんな会話で打ち解けて「人の和」を作り、又、第2例会はクリーン例会で、外での清掃活動で環境を考える会、又、主力例会にはワイズメンとしての基本的な形で行ってけじめをつけてきました。



東稜クラブは、Y M C A、京都部事業には積極的に協力しながらも、当クラブの主力協力事業である、てんとう虫マラソン、あしなが学生との交流等、徐々に安定した行事が設定出来る様になり、クラブ員全員が理解し、3年目にしてまとまって来た様に思われます。今後は、この状態を維持しながらクラブ員の増員を計って行く事が重点と思われれます。これからも東稜クラブとのお付き合いを宜しくお願い致します。1年間ありがとうございました。

京都ウェルワイズメンズクラブ

会長 一瀬 倫

思えばアツという間の一年間でした。というよりも次々期会長を拝命してからの、二年半も凄いスピードで過ぎ去りました。時の経つはやさきに自分自身、驚いています。

一年を振り返ってみますと、6月のギブキッズ府立病院コンサートを始めに、リトセン及びサバエキャンプ場開設ワーク、青白キャンプと期のスタートよりいきなり全速力で走り出しました。例会扱いではない事業にも多数のメンバーが参加していただき大いに盛り上がりましたことは、嬉しい思い出として心に大きく残っています。

今期は『環境』について初めての試みとして、クールビズ例会を実施しメンバー各自が身近なところから、クールビズについて考える機会を作りました。幸いにして、好評だったのは嬉しい限りです。

11月のオータムフェスタには昨期よりの「ウェルと言えばたこ焼き」を踏襲し実施しましたが、準備に時間がかかり過ぎることがネックとなり再考を余

儀なくされ、以降は「揚げたこ焼き」とマイナーチェンジしました。夜桜フェスタ・チャリティランと「揚げたこ焼き」は成功し、Yサ委員長の努力が報われた事は本当に良かったと思っています。



この他各事業においてメンバー各位がそれぞれの立場で献身的なご奉仕をしていただき、一つひとつに感動や思い出が詰り会長として本当に感謝しています。この一年間至らぬ会長を支えていただいた三役や各事業委員長そしてメンバーのみなさんに心から感謝いたします！

最後に成りましたが、京都部の役員の皆様、各クラブ会長様には一年間色々とお世話になり感謝しております。ありがとうございました！

【今期京都部関連活動一覧】

日付	行事・事務作業・関連行事等
2005.12.15	部第1回準備会
2006.01.08	～09区次期役員研修会
2006.01.27	部第2回準備会
2006.02.17	部第3回準備会
2006.03.18	～19区次期会長・主査研修会
2006.03.24	～26アジア年央会議 ソウル出席
2006.04.08	～09区第1回準備役員会
2006.04.21	部第4回準備会
2006.05.19	部第1回準備役員会+会長
2006.05.27	次期Yサ事業委員長会
2006.06.02	部第2回準備役員会 現合同
2006.06.10	～11区大会 名古屋・
2006.06.10	区第2回準備役員会
2006.06.18	第1回部評議会 マナ・ホール
2006.06.25	リトセン開設ワーク協力
2006.07.01	区Yサ・ユース主査懇談会主査出席
2006.07.02	区EMC主査会議主査出席
2006.07.02	サバエキャンプ開設ワーク協力
2006.07.08	西日本区メネット事業主査会議主査出席
2006.07.09	サバエキャンプ開設ワーク協力
2006.07.10	前期半年報取り纏め・前期部費請求
2006.07.11	部HPプレスリリース利用の勧め
2006.07.14	部第1回役員会
2006.07.15	～16区第1回役員会
2006.07.18	キャピタルクラブ公式訪問

日付	行事・事務作業・関連行事等
2006.07.22	区地域奉仕研修会出席
2006.07.26	トゥービークラブ公式訪問
2006.07.28	部メネット会長・連絡員会
2006.07.29	部EMC交流会開催
2006.08.03	～06国際大会 釜山京都部より多数参加
2006.08.04	京都YMCA平和の集い
2006.08.05	EMC調査集計表取纏め
2006.08.09	グローバルクラブ公式訪問
2006.08.11	部第2回役員会
2006.08.21	めいぷるクラブ公式訪問
2006.08.22	エイブルクラブ公式訪問
2006.08.23	パレスクラブ公式訪問
2006.08.24	ウイングクラブ公式訪問
2006.08.24	BF使途資料整備公表
2006.08.31	前期区・部費納入期限
2006.09.01	次々期部長立候補告示
2006.09.01	部報1号発行
2006.09.03	ユースコンボケーション案内
2006.09.03	リトセン秋のワーク
2006.09.05	EMC調査集計表取纏め
2006.09.08	部第3回役員会
2006.09.08	部HPアンケート実施
2006.09.10	部第2回部評議会
2006.09.10	第11回京都部部会琵琶湖ホテル
2006.09.11	ファンドアンケート実施
2006.09.12	京都クラブ公式訪問
2006.09.12	BF代表案内
2006.09.12	交流事業アンケート実施
2006.09.13	トップスクラブ公式訪問
2006.09.19	ウェルクラブ公式訪問
2006.09.20	プリンスクラブ公式訪問
2006.09.28	部報1号発行
2006.09.28	ウエストクラブメネット例会主査訪問
2006.09.28	洛中クラブ公式訪問
2006.09.30	次々期部長立候補締切
2006.10.05	EMC調査集計表取纏め
2006.10.07	～09全研開催協力
2006.10.08	YYYフォーラムワールドフードフェア
2006.10.10	福知山クラブ公式訪問
2006.10.12	東稜クラブ公式訪問
2006.10.13	部第4回役員会
2006.10.18	グローバルクラブ強調月間主査訪問
2006.10.18	みやびクラブ公式訪問
2006.10.20	京都部広報委員長会
2006.10.26	ウエストクラブ公式訪問
2006.10.29	専門学校学園祭協力
2006.11.01	BFデレグレート応募締切
2006.11.05	国際協力街頭募金支援
2006.11.08	さくらクラブ公式訪問
2006.11.10	部第5回役員会
2006.11.12	リトセンオータムフェスタ開催支援
2006.11.13	YM・YW合同祈祷週集会参加
2006.11.17	第2回HIV/AIDSワークショップ
2006.11.20	BF切手・現金中間締切アピール
2006.11.25	～26区第2回役員会
2006.11.28	ファンドアンケート結果公表
2006.12.05	EMC調査集計表取纏め

日付	行事・事務作業・関連行事等
2006.12.08	部第6回役員会
2006.12.15	会員クリスマス・ロビーコンサート(京都)
2006.12.16	ロビーコンサート(センチュリー)
2006.12.23	次年度における次々期理事立候補告示
2007.01.05	E M C 調査集計表取纏め
2007.01.10	後期半年報取り纏め・後期部費請求
2007.01.12	部第7回役員会
2007.01.13	～14区次期役員研修会
2007.01.18	センチュリークラブ公式訪問
2007.01.21	C S チャリティーボウリング
2007.01.27	京都部合同メネット会打合せ会
2007.02.05	E M C 調査集計表取纏め
2007.02.07	グローバルクラブ強調月間主査訪問
2007.02.09	部第8回役員会 次期合同
2007.02.17	区広報主査会
2007.02.18	第3回部評議会 マナ・ホール
2007.02.18	部ワイズデーHIV / AIDS ワークショップ
2007.02.20	キャピタルクラブ強調月間主査訪問
2007.02.20	部報2号発行
2007.02.20	部報2号web版発行
2007.02.23	京都Y M C A 創立118年会員集会参加
2007.02.23	B F ・ E F ・ J W F 勸奨
2007.02.24	京都部合同メネットの集い
2007.02.25	全国車椅子駅伝支援
2007.02.26	めいぶるクラブ強調月間主査訪問
2007.02.28	後期区・部費納入期限
2007.03.05	E M C 調査集計表取纏め
2007.03.08	部報2号印刷版発行
2007.03.09	部第9回役員会
2007.03.11	卒業リーダー祝会支援
2007.03.15	センチュリークラブメネット例会主査訪問
2007.03.17	～18次期会長・主査研修会
2007.03.30	京都部次期会長Yサ懇談会
2007.03.31	各献金納入締切
2007.04.00	部HPに入会案内
2007.04.05	E M C 調査集計表取纏め
2007.04.07	～08区第3回役員会
2007.04.10	エイブルクラブメネット招待例会訪問
2007.04.13	部第10回役員会
2007.04.21	チャリティーコンサート開催支援
2007.04.22	リトセン夜桜フェスタ開催支援
2007.04.26	STEP受入要請 大槻部長にて受け入れ
2007.05.05	E M C 調査集計表取纏め
2007.05.11	部第11回役員会
2007.05.16	大阪センテニアルクラブ訪問
2007.05.19	現・次期メネット会長・連絡員会
2007.05.20	インターナショナルチャリティーラン
2007.05.26	Y定期総会
2007.06.01	部第12回役員会
2007.06.05	E M C 調査集計表取纏め
2007.06.08	区第4回役員会
2007.06.09	代議員会・～10区大会
2007.06.17	第4回部評議会 マナ・ホール
2007.06.24	リトセン開設ワーク支援
2007.07.05	E M C 調査集計表取纏め
通年	強調月間他のクラブ訪問・講師等
通年	ブリテン原稿寄稿他

以上は、部キャビネット・主査等が、部役員として関わったり活動したものです。この他に京都部内18の各クラブが、夫々に本活動報告では書ききれない数々の素晴らしい事業を高いレベルで推進して頂きました。

正に、「百花繚乱 - 京都部 - 」でありました。

6月10日、区大会において「部長バッチ」を、そして、6月17日開催の第4回京都部評議会において「部旗」を、無事、07～08年度 新山部長に引き継ぐことが出来ました。



最後に、私たちワイズメンの運動は、期が終わると言えど永遠に継続して行かなくてはなりません。07～08年度新山部長はその主題として

「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

を掲げられました。又、その副題には、

「元気・やる気・根気・本気」

とあります。ここ数年、間近にあります500名体制、手が届きそうで届かない状態が続いておりますが、部長の掛け声だけで達成できるものではありません。京都部のメンバー一人一人が、この新山部長の思いを共有して頂き、持ち前の元気さと、達成するぞとのやる気を持って、根気強く本気でことに臨んで頂く様、お願い致しまして、今期のご報告を締めくくらせて頂きます。

第11期 京都部決算(案)
2006.07.01 ~ 2007.06.30

一般会計収入の部

科目	当初予算	修正予算	第11期決算額	備考
部費	1,323,000	1,326,000	1,323,000	前期442x@1,500 後期440x@1,500
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	88,200	88,400	88,400	西日本区より部一律部前期メンバー1人当り@¥200
利息			959	
単年度収入小計	1,511,200	1,514,400	1,512,359	
前期繰り越し金	1,203,650	1,192,809	1,191,969	振込み手数料840円マイナスにて繰り越し受入
合計	2,714,850	2,707,209	2,704,328	

一般会計支出の部

科目	当初予算	修正予算	第11期決算額	備考
事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費 @¥20,000x7事業
部事業費	290,000	360,000	325,630	
ソフトボール支援金	0	0	0	
会議費	110,000	110,000	79,000	役員会・評議会・三役会 会場費等
印刷費	355,000	355,000	267,072	部報・会議資料等
部会補助費	455,000	459,000	459,000	@¥1,000x459人(連絡主事含む)
研修費	188,000	188,000	231,560	研修会登録費 会場変更及び1名増
通信費	100,000	100,000	83,235	郵便・電話・振込手数料・部ホームページ維持費
事務費	50,000	50,000	22,638	(ピンパッチ含む)
慶弔費	50,000	50,000	0	
単年度支出小計	1,738,000	1,812,000	1,608,135	単年度収入-単年度支出 ¥95,776-赤字
次期繰越金	976,850	895,209	1,096,193	
合計	2,714,850	2,707,209	2,704,328	

特別会計収入の部

	当初予算	修正予算	第11期決算額	備考
前期繰越金	410,958	440,958	440,958	
一般会計より	30,000	30,000	30,000	
合計	440,958	470,958	470,958	

特別会計支出の部

	当初予算	修正予算額	第11期決算額	備考
YEEP支援支出	0	0	0	
ユースコンボケーション支援金	0	150,000	150,000	YC支援金
予備費	440,958	320,958	320,958	
合計	440,958	470,958	470,958	

以上の通りご報告申し上げます。

2007年 7月 1日

2006年~2007年度 京都部会計 片山 吉章 印

上記報告に基づき、監査を実施致しました所、適正に処理されていたことをご報告申し上げます。

2007年 7月23日

2006年~2007年度 京都部監事 渡邊 公生 印

一般会計支出明細

科目	細目	修正予算額	決算額	備考
事業費	Yサ・ユース事業	20,000	20,000	各事業運営経費・資料・通信費等 各主査予算オーバー分は自弁として 頂きました。
	EMC事業	20,000	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	20,000	
	ファンド事業	20,000	20,000	
	交流事業	20,000	20,000	
	広報事業	20,000	20,000	
	メネット事業	20,000	20,000	
小計		140,000	140,000	
部事業費	Yサ・ユース事業	50,000	30,000	国際協力街頭募金支援
	EMC交流会	70,000	70,000	
	CSチャリティーボウリング	80,000	80,000	
	ワイズデー事業	50,000	35,630	会場費含む(12000)
	合同メネット会関連	80,000	80,000	会場費含む(10000)
	特別会計へ	30,000	30,000	ユースコンボケーション支援
小計		360,000	325,630	
会議費	役員会	60,000	36,000	12回
	評議会	40,000	33,000	予算4回支払い3回(内1回部会時)
	三役会	10,000	10,000	
小計		110,000	79,000	
印刷費	部報	315,000	231,000	当初3報予定。実2報印刷
	会議資料	40,000	36,072	
小計		355,000	267,072	
部会補助費	第11回京都部会補助	459,000	459,000	@¥1,000x459(連絡主事含む)
小計		459,000	459,000	
研修費	部長	17,000	17,000	1回(1月次期役員研修会)
	次期部長	32,000	35,320	2回(1月次期役員研修+3月次期 会長主査研修)
	次期主査	105,000	128,240	1回(3月次期会長主査)x7名
	次期三役	34,000	51,000	1回(1月次期役員研修会)x3名
小計		188,000	231,560	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	30,000	15,195	
	部ホームページ関係	70,000	68,040	6月9日更新 前期分+今期分
小計		100,000	83,235	
事務費	事務・備品	50,000	22,638	ピンバッチ代含む -¥27,362
慶弔費	慶弔費	50,000	0	
次期繰越金	予備費	895,209	1,096,193	
支出総合計		2,707,209	2,704,328	

特別会計支出明細

科目	細目	予算額	決算額	備考
YEEP支援支出		0	0	
YC支援金	タイ・バンコク ユースコンボケーション	150,000	150,000	@ ¥ 75,000x2名
予備費		320,958	320,958	
合計		470,958	470,958	

2006年6月17日開催の第4回評議会に仮決算にて上程、御承認を頂いたものを、6月30日執行分までを確定し、監査を受けたものです。

正式には、2007～2008年度京都部第2回評議会に、本決算を上程し、御審議頂くこととなっておりますので、それまでの間、決算(案)であることをご了解下さい。

KONNA KIIYA!

元気・やる気・根気・本気

2007年

9月9日は部会の日

開会 PM15:30~PM20:00 閉会
ウェスティン都ホテル京都 西館4F瑞穂の間
¥10,000 (登録費)



この思いを皆様へ!

年に一度京都部の皆様が一同に集まる
フェスティバルとして多に盛り上げ
楽しんで頂く部会です。
ホストクラブとしてメンバー全員が、
熱意と創意を喚起し、楽しんで頂く
ためのいろいろな企画を練っています。
皆様のご参加をお待ち致しております。
2007年 次期京都部部長 新山 兼司

I部

おごそかに

II部

ほじけて楽しく!!
「TAIYOU」ソウルライブ

★
クラブ対抗クイズ

★
?只今企画中 ヒ・ミ・ツ



アンドレ・ウィルソン率いる
ソウルグループ「TAIYOU」



ゴスペル、R&B、ポップス、オリジナルソング、
ソウルスとリズムに五感をゆだねてみませんか。

京都トップスワイズメンズクラブ 京都部会実行委員会